

学習課題の提示、ICT機器の活用により家庭学習支援の検証的な取り組みも行った。

生活の様子は、健康チェックシートの配付、IP告知端末の活用、家庭訪問を行い、児童生徒一人ひとりと会話しながら状況を把握した。

**質問** 休校により不足した授業数はどう確保するのか。

**教育長** 夏季・冬季休業日の短縮、土曜日授業等の実施、学校行事の精選等を実施する。町内各学校の1学期登校日を7月31日までとする。

**質問** 修学旅行の計画はどうなるか。

**教育長** 日にちをずらしても極力実施できるようにし、可能な限り思い出ができる修学旅行を成功させるよう、支援を進めたい。

**質問** 休校中の反省点、今後の課題については。

**教育長** 教育委員会から先生方、保護者への情報伝達と確認に時間を要したので、一斉メール等の整備検討、IP告知端末機の更なる活

用方法を考えていきたい。

● **バイオガス基本計画策定** について

**質問** 令和元年度調査事業の成果は。

**町長** 百頭規模の酪農家が導入できるバイオガスプラントの情報収集及び精査を目的とし、具体的データを得た。

**質問** その内容は。

**町長** プラントの基本仕様になる農家のヒアリング調査、基本仕様、数量計算書及び基本計画図の作成、概算事業費の策定を完了した。

**質問** 農家に対してアンケート調査もしたが、その集計に対しての分析は。

**町長** 回答率、導入希望戸数共に決して多くないが、私が目指す環境保全型酪農を推進するため、本町に適合するプラント、システム構築を引き続き検討する。

**質問** プラントモデルを3つ計画しているが、3つ造るのか。

**町長** 地元事業者との協体制がどう取れるか今後詰めていく。モデルケースは

1個1箇所。

**質問** 農家選定ポイントに農家の主体性・経済性確保、運営管理体制の確立、その他補助申請要件を満たしているかなど条件があげられている。行政だけでは話が進められないのではないか。

**町長** 設計図等、成果品が出てきたので、農家経済の情報収集をしながら、どのような形の支援、融資をすればいいのか詰めていく。

**質問** 農協との協議となれば、今後、企画政策課から産業振興課が音頭をとってやっていくのか。

**町長** 農家の皆さんにご理解をいただき、モデルプラントが普及していくことが1つの柱である。モデルまでは企画政策課で作成し、実際の導入は産業振興課になるだろう。



第3回

まちづくり常任委員会

4月30日

○ **調査事項**

① **保健福祉課所管**

▽ **子育て世帯への臨時特別給付金について**

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取り組みの1つで、新たな給付金。

対象児童1人に1万円を支給する。本町の対象児童は290人。

**質** 高校生は対象外なのか。

**答** 対象は児童手当支援対象の中学生まで。3月末で支給事由が停止した高校1年生も該当する。

② **住民生活課所管**

▽ **特別定額給付金について**

給付対象者は4月27日時点で住民基本台帳に登録されている全ての住民2千2百73名。

**質** 高齢者が書類をコピーして郵送するのは大変である。サポートをどのように

考えているのか。

**答** 本人確認の書類の写しを添付できない場合は、窓口に来てもらい本人確認する。

告知端末機を利用して本人確認ができないか国に確認している。

**質** 詐欺行為の対策は。

**答** 広報誌、告知端末で周知していく。

**質** 日本国籍を有していないくても日本に住んでいれば給付対象なのか。

**答** 住民基本台帳に登録されていれば対象となる。

③ **企画政策課所管**

▽ **幌延町特定業種（飲食・宿泊業）経営持続化緊急支援給付金について**

4月28日に町内飲食業・宿泊業について令和2年3月期の売上が著しく減少している業種に対し、商工会から緊急支援等の要請を受けた。

経営を持続してもらうことを目的に町独自の交付限度額70万円の緊急支援の給付金事業の実施。また、飲食業への消費誘導を目的に